



5月19日 | 初夏の青い風物詩を収穫

梅の産地として知られる伊太地区で、梅の実の収穫が始まりました。約50本の梅を栽培している大塚猪太郎さんおつかいたろうの梅園では、夫婦で収穫に汗を流しました。

ほんのり赤く色づき、たわわに実った梅の実の収穫は、小梅から始まり、普通梅、大梅の順に6月下旬ごろまで続くそうです。収穫された梅は、県内をはじめ東京方面にも出荷されます。

5月10日 | 自分で摘んで自然に感謝

湯日小学校の茶園「湯日っ子茶園」で全校児童35人が、地区の老人会とPTAのメンバーと一緒に、もえぎ色に芽吹いた新茶の手摘み体験をしました。

今年は、約200m²の茶園から、138kgの茶葉を収穫。この後、地元の茶工場で製茶されて完成したお茶は、同小学校の給食などで飲まれます。去年は、この茶園のお茶を、東日本大震災の被災地へ送りました。



5月17日 | 懐かしい品々を島田市へ

島田市博物館協議会委員で静岡大客員教授の平野雅彦さん（静岡市葵区）から、長年収集してきた昭和のキャラクターグッズなど、約4,000点の寄贈がありました。

半生を費やして集めたコレクションを、安全に保管できる場所に任せたいとの思いから、同博物館を選択。平野さんは「愛や正義を訴える昭和の漫画の話題で、子どもからお年寄りまで、交流の輪が広がれば」と話しました。



5月17日 | 満開のバラが20周年を祝福

平成4年にオープンした「ばらの丘公園」が開園20周年を迎え、記念セレモニーが行われました。

開園から今年3月末までの入園者数は、約173万人。当日は、桜井市長が「市の観光拠点として、さらなる飛躍を」とあいさつした後、島田北幼稚園児とくす玉を割り、地元自治会や指定管理者などの代表者が、大温室に「ミスシマダ」の苗木を記念植樹しました。



5月27日 | 大井川に架かる光の橋

蓬莱橋で「第19回蓬莱橋ぼんぼり祭り」が開催されました。夕闇が濃くなると、橋の欄干に取り付けられた約130基のぼんぼりに灯が入り、昼間の風情とは全く違った、幻想的な雰囲気に包まれました。

橋の番小屋脇の特設舞台では、地元の園児や住民が歌や踊りを披露。来場者は、心地よい大井川の涼風を感じながら、お祭りを満喫していました。

5月21日 | ^{そら}宇宙に届いた児童の願い

第四小学校では、登校時間を繰り上げて全校児童と一緒に金環日食きんかんを観察しました。校庭に集まった子どもたちが見上げた先は、あいにくの曇り空。しかし、みんなで「太陽出てこい！」と声をそろえて叫び続けると、雲の切れ間から綺麗な金の輪が一瞬顔を見せてくれました。

わずか数十秒の神秘の天体ショーは、子どもたちの輝く「笑顔の環わ」もつなげた様子でした。

